

新潟県で生産される現時点での 食材について（第1報）

歌 城 純 子・玉 木 民 子

A Study on the Present Situation of Foodstuffs Production
in Niigata Prefecture (Part 1)

by

Sumiko Kashiro, Tamiko Tamaki

I は じ め に

食料は1日たりとも欠かせないものであり他の物では代替できず節約にも限度があるという意味で国民生活のもっとも基礎的な物質といえる。農業県といわれる本県での穀類、野菜、果実などの生産状況や日本海に面している本県の水産物の漁獲量、最近、県内産として多くみられる生肉や畜産加工品など現時点でどのような食材がどの地方でどの位生産されているかについて県の資料を参考に調査を行ない、その結果多少の知見を得たので、本報ではそのうちの穀類（米・大麦・小麦・大豆）と野菜の生産状況について報告する。

II 調 査 方 法

平成6年度新潟県出版の『新潟県農業の動き』、平成7年3月発行の新潟県農林水産部『新潟県農業の現状』、新潟県農林水産部発行の『明日へ伸びるにいがたの農林水産業』、同じく新潟県農林水産部・農地部発行の『にいがたの農林水産業』（本書は小学校高学年用資料として使用されている。）平成7年3月新潟県農林水産部発行の『新潟県の園芸と養蚕』、平成元年3月『新潟県園芸指定産地の概要』、農林水産大臣官房調査課『食糧需給表』を参考に調査検討してみた。

III 生産される食材について

1 穀 類

新潟県と全国の平成6年の農業生産状況について新潟県農林水産部の編集資料を参考に考察することができる。

(1) 穀類の作付け状況

表1より、水稻・大麦・小麦・大豆の作付け状況を全国と比べてみると、新潟県では小麦がほとんど収穫されていないことに気付く。水稻については「新潟米」として全国的に有名であるが、

新潟青陵女子短期大学研究報告 第26号 (1996)

収穫量の全国割合は6.6%で、北海道に次いで2位である。六条大麦は全国割合3.6%で全国4位、大豆は全国割合2.6%で第13位の収穫量であった。

表1 新潟県と全国の穀類の作付け状況（平成6年）

品 名	作付け面積 (ha)		10a当たり収量(kg)		収 穫 量 (トン)		
	新 潟	全 国	新 潟	全 国	新 潟	全 国	割合 (%)
水 稻	143,300	2,212,000	547	544	783,900	11,961,000	6.6
六条大麦	210	4,000	236	345	496	13,800	3.6
小 麦	9	151,900	245	372	22	564,800	0.0
大 豆	1,690	60,900	150	162	2,540	98,800	2.6

資料：農林水産省「作物統計調査」より作表

(2) 新潟県の地域別水稻生産状況

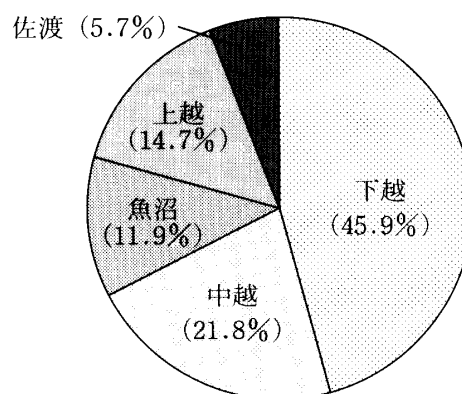
県内の水稻生産状況を地域別に表したのが表2で、年間収穫量の多い順に表したのが図1である。下越地区が約半分を占めている。10a当たり収量では、上越地域が500kgに満たないものの、他地域ではほぼ並んで516kg～573kgまでの範囲にある。

表2 新潟県の地域別水稻生産状況
(平成6年)

地 域	作付面積(ha)	収穫量(t)	10a当たり 収穫量(kg)
下 越	65,800	377,000	573
中 越	31,300	173,000	553
魚 沼	17,000	87,800	516
上 越	21,000	102,400	488
佐 渡	8,200	43,700	533
新潟県	143,300	783,900	547

資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びる
にいがたの農林水産業』より作表

図1 地域別水稻生産状況（平成6年）



資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びる
にいがたの農林水産業』より作図

(3) 水稻の品種別作付け割合

県内の水稻の品種別作付け割合を表3に示した。「コシヒカリ」「ゆきの精」「新潟早生」の3種で全体の80%を占めている。これらの品種は主食として食されるものである。米の粗生産額は新潟県2,710億円で、2位の秋田県、3位の茨城県をおさえて全国1位になっているために「新潟米」は美味しい評価を得ているのだろうと考えられる。

水稻の作付け面積は年々増加して

表3 水稻の品種別作付け割合（平成6年）

品 種	作付け面積(ha)	割 合 (%)
コ シ ヒ カ リ	87,568	63.6
ゆ き の 精	15,145	11.0
新 潟 早 生	8,261	6.0
ア キ ヒ カ リ	5,370	3.9
越 路 早 生	4,681	3.4
ト ド ロ キ ワ セ	4,131	3.0
こ が ね も ち	2,891	2.1
五 百 万 石	1,928	1.4
そ の 他	7,710	5.6
全 体	137,685	100.0

資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びるにいがたの農林
水産業』より作表

いるわけではないが、新潟食糧事務所の資料で品種別作付け面積の年次比較の示された表4によると、「コシヒカリ」「新潟早生」「ゆきの精」の品種は作付け量がふえている。

表4 水稻品種別作付面積

区 分		種別等	品 種 名	4 年 産		5 年 産		6 年 産		前年との比較	
				作付面積 (ha)	比 率 (%)	作付面積 A (ha)	比 率 (%)	作付面積 B (ha)	比 率 (%)	前年差 B－A (ha)	前年比 B／A (%)
奨励品種	産地品種銘柄醸造用を除く	1	コシヒカリ	86,182	64.3	87,582	64.4	87,556	63.6	△ 26	100.0
		1	越 路 早 生	7,557	5.6	6,086	4.5	4,659	3.4	△1,427	76.6
		2	新 潟 早 生	8,256	6.2	7,182	5.3	8,196	6.0	1,014	114.1
		2	トドロキワセ	6,174	4.6	4,659	3.4	4,088	3.0	△ 571	87.7
		3	ゆ きの 精	10,965	8.2	14,611	10.7	15,096	11.0	485	103.3
		(2)	(はつこしじ)	769	0.6	602	0.4	—	—	—	—
		(2)	(越 みの り)	—	—	—	—	—	—	—	—
		小 計		119,903	98.4	120,722	88.7	119,595	86.9	△1,127	99.1
	上記以外の奨励品種	(3)	(ゆ きの 精)	—	—	—	—	—	—	—	—
		(3)	(越 みの り)	220	0.2	—	—	—	—	—	—
		(3)	(ハウネンワセ)	100	0.1	—	—	—	—	—	—
		3	アキニシキ	135	0.1	87	0.1	29	0.0	△ 58	33.3
		3	わせじまん	—	—	124	0.1	1,480	1.1	1,356	11.9倍
		酒	五 百 万 石	1,849	1.4	1,947	1.4	1,938	1.4	△ 9	99.5
		酒	一 本 ノ	—	—	30	0.0	111	0.1	81	3.7倍
		もち	こがねもち	2,577	1.9	2,745	2.0	2,894	2.1	149	105.4
		もち	はつかざり	1,011	0.8	972	0.7	692	0.5	△ 280	71.2
		もち	わたほうし	—	—	174	0.1	1,123	0.8	949	6.5倍
		小 計		5,892	4.4	6,079	4.5	8,267	6.0	2,188	136.0
		計			125,795	93.8	126,801	93.2	127,862	92.9	1,061
その他の品種	認定品種 3 酒・種子取扱 もち もち その他	アキチカラ	466	0.3	512	0.4	545	0.4	33	106.4	
		アキヒカリ	3,900	2.9	4,411	3.2	5,316	3.9	905	120.5	
		たかね錦	82	0.1	89	0.1	87	0.1	△ 2	97.8	
		ヒデコモチ	1,116	0.8	1,278	0.9	1,052	0.8	△ 226	82.3	
		ヒメノモチ	996	0.7	1,159	0.9	1,126	0.8	△ 33	97.2	
		そ の 他	1,779	1.3	1,826	1.3	1,697	1.2	△ 129	92.9	
		計		8,339	6.2	9,275	6.8	9,823	7.1	548	105.9
	合 計			134,134	100	136,076	100	137,685	100	1,609	101.2

資料：新潟食糧事務所「米穀の品種別作付状況」

注：越みのり及びハウネンワセは5年産から、はつこしじは6年産から奨励品種の指定を取消した。

表5 自主流通米品種別出荷状況

(単位：玄米トン、%)

品 種	4 年 産	5 年 産	伸 長 率 4 → 5	水稻うるち米の品種別構成割合	
				4 年 産	5 年 産
コシヒカリ	317,246	250,312	78.9	74.2	64.5
越路早生	31,216	23,372	74.9	7.3	6.0
越みのり	439	334	76.6	0.1	0.1
ゆきの精	33,448	59,774	178.7	7.8	15.4
トドロキワセ	17,142	13,586	79.3	4.0	3.5
新潟早生	21,515	27,508	127.9	5.0	7.1
はつこしじ	3,214	2,186	68.0	0.8	0.6
その他	3,525	10,966	311.1	0.8	2.8
計	427,745	388,038	90.7	100.0	100.0
酒 米	10,595	9,554	90.2	—	—
もち 米	15,493	14,407	93.0	—	—
合 計	453,833	411,999	90.8	—	—

資料：新潟食糧事務所

(4) 自主流通米品種別出荷状況

平成4年産と5年産の自主流通米出荷状況を表5よりみることが出来るが、「コシヒカリ」より「ゆきの精」と「新潟早生」の伸び率が大きいことがわかる。

新潟県の人口247.8万人が783,900トンの米を1年間に消費すると県民1人1日当り866gを得られる。大変幸せな気分であるが全国的にはどうであろうか。全国人口12,476.4万人、全国の米の収穫量11,961,000トンで計算すると、国民1人1日当りは2.6gである。不安な気分ではないか。

新潟県の広い県土と豊かな自然、農業技術の研究開発、交通網の充実などいろいろな整備、研究によって日本一のおいしいお米が生まれている。大切にしたい。

2 野 菜

野菜の消費は昭和30年代以降、所得水準の上昇、食生活における洋風化の進展にともなって品目の多様化、消費の周年化が大きく変化してきた。品目別にみるとだいこん、はくさい等の伝統的な野菜が減少する一方、トマト、レタス、きゅうり等が増加している。また多くの野菜が年間を通じて消費されるようになり地域間、世帯間でも差が小さくなってきている。さらに消費量のニーズに沿って、栄養、鮮度、熟度など品質面が重視され、地場野菜や中国野菜などの新野菜も多く出回っている。

野菜の国内生産は昭和30年代後半以降、需要の増大に対応して生産も拡大してきたが、需要の増大が先行したため野菜の消費者価格の上昇率は消費者物価全体のそれを上回ったといわれる。また野菜は気象の変化による影響のみでなく生産者が価格に敏感に反応して作付けを増減させることにより生産の変動が大きくなる傾向があり、貯蔵性に乏しい性質も加わって他の農作物より市場価格の変動が大きいという性格がある。

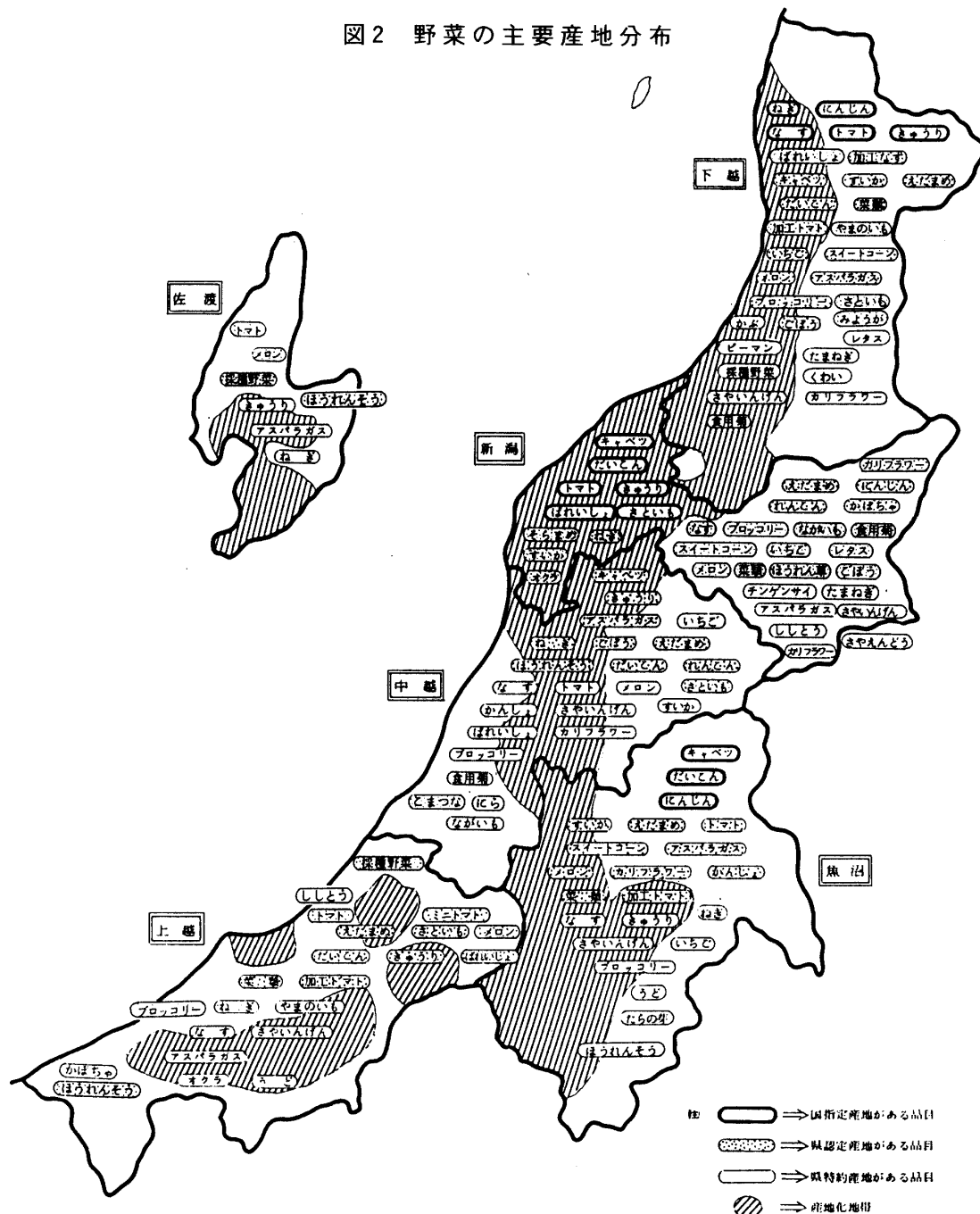
このため昭和41年に「野菜生産出荷安定法」が制定され野菜生産は指定産地制度を基本として

大規模産地を主体に展開することになった。今日では、キャベツ、たまねぎ、トマト、にんじん、ばれいしょなど14の主な野菜がこの制度の対象とされている。新潟県でもこの指定産地制度が昭和57年度より設置されている。

（1）野菜の主要産地分布

新潟県の指定産地制度による国の指定産地品目は、ねぎ、にんじん、トマト、きゅうり、なす、ばれいしょ、キャベツ、だいこん、さといもの9種であり、これにつづいて県認定産地、県特約産地がある。この産地区分は産地規模によるもので図2野菜の主要産地分布による。県では中小規模産地を含む県内の園芸産地を対象として産地指定を行ない、産地の生産出荷体制の強化、組織活動の助長を図ることを目的として指定産地を定めた。

図2 野菜の主要産地分布



資料：新潟県農林水産部園芸・流通課『新潟県の園芸と養蚕』

図2でわかるように、国の指定産地は新潟地区に集中しており、産地化地帯は新潟、下越が上位にある。野菜の指定産地指定要件は表6の通りである。

表6 指定産地指定要件

部門	指定品目	産 地 規 模					生産出荷体制																						
野 菜	ブランド品目	<table><tr><td rowspan="2"><div>対象品目 産地区分</div></td><td>葉茎菜類 根 菜 類 い も 類</td><td>果 菜 類 採種野菜</td><td>果 実 的 野 菜</td><td>施設野菜</td></tr><tr><td>認 定 産 地</td><td>おおむね 5～25ha</td><td>おおむね 3～15ha</td><td>おおむね 5 ha以上</td><td>おおむね 0.5～10ha</td></tr><tr><td>地域重点品目</td><td>特 約 産 地</td><td>おおむね 1～5 ha</td><td>おおむね 0.5～3 ha</td><td>おおむね 1～5 ha</td><td>おおむね 0.3～0.5ha</td></tr><tr><td></td><td colspan="5">産地の実態により、複合品目での面積確保を図ることができるものとする。</td></tr></table>					<div>対象品目 産地区分</div>	葉茎菜類 根 菜 類 い も 類	果 菜 類 採種野菜	果 実 的 野 菜	施設野菜	認 定 産 地	おおむね 5～25ha	おおむね 3～15ha	おおむね 5 ha以上	おおむね 0.5～10ha	地域重点品目	特 約 産 地	おおむね 1～5 ha	おおむね 0.5～3 ha	おおむね 1～5 ha	おおむね 0.3～0.5ha		産地の実態により、複合品目での面積確保を図ることができるものとする。					<ul style="list-style-type: none">○ 認定産地はおおむね農業協同組合の区域、特約産地はおおむね集落の区域を範囲とする。○ 出荷量のうち2分の1以上に相当する数量が共同出荷されているか、またはその見込みが確実であること。○ 生産物の品質向上に積極的であること。
	<div>対象品目 産地区分</div>							葉茎菜類 根 菜 類 い も 類	果 菜 類 採種野菜	果 実 的 野 菜	施設野菜																		
		認 定 産 地	おおむね 5～25ha	おおむね 3～15ha	おおむね 5 ha以上	おおむね 0.5～10ha																							
	地域重点品目	特 約 産 地	おおむね 1～5 ha	おおむね 0.5～3 ha	おおむね 1～5 ha	おおむね 0.3～0.5ha																							
		産地の実態により、複合品目での面積確保を図ることができるものとする。																											
重点品目																													
地域重点品目																													
		産地の実態により、複合品目での面積確保を図ることができるものとする。																											

資料：新潟県農林水産部『新潟県園芸指定産地の概要』

(2) 野菜品目別産地指定概要

平成4年度下期の野菜品目別の指定産地、認定産地、特約産地数は表7に示したが国の指定産地の数は少なく、県の認定産地、特約産地が多い。このことは栽培面積の規模が大きいものが少ないという結果がでている。又、前述の9品目の指定産地数が極めて小数しかないことがわかる。

表7 野菜品目別産地指定概要

品 目		産 地 数			
		指定 産地	認定 産地	特約 産地	計
野 菜	ト マ ト	2	16	7	25
	ミニトマト		1	1	2
	きゅうり	2	14	8	24
	な す	1	5	7	13
	ピーマン			1	1
	すいか		15	2	17
	メロン		8	7	15
	いちご		4	7	11
	キャベツ	3	9	8	20
	ほうれんそう		5	4	9
	ねぎ	1	11	24	36
	たまねぎ		1	1	2
	レタス		1	1	2
	カリフラワー		4	6	10
	ブロッコリー		6	11	17
	アスパラガス		7	18	25
	に ら			1	1
	菜 類		7	1	8
	だいこん	3	14	7	24
	かぶ			2	2
野 菜	にんじん	4	8	1	13
	ごぼう		4	2	6
	れんこん		4	1	5
	さといも	1	6	6	13
	やまのいも		3	3	6
	ばれいしょ	1	5	3	9
	かんしょ		1	4	5
	えだまめ		17	12	29
	さやいんげん		1	9	10
	オクラ		1	1	2
	スイートコーン		6	6	12
	食用菊		1	4	5
野 菜	うど			2	2
	くわい			2	2
	ししとう			2	2
	そらまめ		3	3	6
	採 種		5	1	6
	みょうが		1		1
	かぼちゃ		1		1
	さやえんどう			1	1
	たら芽			1	1
	チンゲンサイ			1	1
	合 計	18	195	189	402

資料：新潟県農林水産部園芸・流通課『新潟県の園芸と養蚕』

(3) 農政事務所別産地数

農政事務諸別の産地区分で見ると表8で、指定産地、認定産地、特約産地の計をみると新潟地区が一番多く、それに続いて下越地区、魚沼地区、中越地区、上越地区、佐渡地区の順になっている。

表8 農政事務所別産地数

部門	産地区分	農 政 事 務 所						
		下越	新潟	中越	魚沼	上越	佐渡	計
野菜	指定産地	7	8	—	3	—	—	18
	認定産地	34	87	16	34	17	7	195
	特約産地	36	53	44	24	27	5	189
	計	77	148	60	61	44	12	402

資料：新潟県農林水産部『新潟県園芸指定産地の概要』

(4) 野菜の主産地

平成5年産野菜出荷量上位市町村をあげると表9野菜の主産地の通りである。この中から主要品目別産地を作付面積の順にあげると表10のようになる。出荷量の多い市町村が新潟、下越地区に多いのはいうまでもない。野菜の種類別作付割合は図3のようで果菜類・根菜類の割合が多い。

表9 野菜の主産地（平成5年産野菜出荷量上位市町村）

品目	順位	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
		市町村名	出荷量	市町村名	出荷量	市町村名	出荷量	市町村名	出荷量	市町村名	出荷量
だいこん	1	新潟市	21,000	巻 町	11,700	中条町	3,230	紫雲寺町	2,130	長岡市	1,120
	2	新潟市	1,030	黒埼町	180	横越村	70	長岡市	61	白根市	60
	3	豊栄市	3,230	津南町	2,570	中条町	1,310	新潟市	670	聖籠町	582
	4	中条町	305	巻 町	305	新潟市	164	横越村	158	五泉市	90
	5	中之島町	970	五泉市	260	見附市	51	田上町	48	新潟市	44
さといも	1	五泉市	780	新潟市	630	新津市	200	長岡市	182	村松町	160
	2	横越村	613	巻 町	341	新潟市	60	黒埼町	31	新発田市	30
	3	新潟市	1,260	三条市	604	白根市	545	燕 市	454	豊栄市	284
	4	新潟市	3,090	三条市	1,670	横越村	1,560	白根市	845	巻 町	796
	5	新潟市	475	三条市	367	白根市	270	黒埼町	154	燕 市	135
たまねぎ	1	新潟市	2,120	中条町	790	神林村	613	村上市	565	五泉市	560
	2	新潟市	832	亀田町	229	黒埼町	225	新津市	150	白根市	142
	3	新潟市	703	豊栄市	471	白根市	385	燕 市	281	聖籠町	168
	4	豊栄市	2,190	新潟市	1,870	白根市	995	津南町	978	燕 市	560
	5	新潟市	2,120	白根市	1,850	聖籠町	670	豊栄市	446	吉田町	363
かぼちゃ	1	新潟市	125	新津市	65	白根市	31	巻 町	31	村松町	30
	2	豊栄市	73	新潟市	60	朝日村	49	潟東村	40	巻 町	31
	3	新潟市	82	豊栄市	12	横越村	10	白根市	8	聖籠町	6
	4	新潟市	798	黒埼町	587	白根市	275	弥彦村	260	巻 町	115
	5	村上市	103	朝日村	40	新潟市	35	津南町	30	聖籠町	29
スイートコーン	1	津南町	480	横越村	422	新潟市	173	豊栄市	93	紫雲寺町	69
	2	新潟市	395	紫雲寺町	102	新津市	70	五泉市	40	潟東村	35
	3	新潟市	12,800	巻 町	4,250	大和町	2,000	小千谷市	850	六日町	485
	4	新潟市	1,490	巻 町	730	小千谷市	400	村上市	290	豊栄市	180
	5	燕 市	173	白根市	150	黒埼町	129	水原町	122	豊栄市	101
カリフラワー	1	小千谷市	700	新潟市	285	黒埼町	202	大和町	200	六日町	75
	2	黒埼町	316	弥彦村	98	新潟市	97	白根市	90	加治川村	46
	3	新潟市	1,840	豊栄市	432	中条町	294	新発田市	285	五泉市	205

資料：農林水産省「青果物生産出荷市町村別統計」

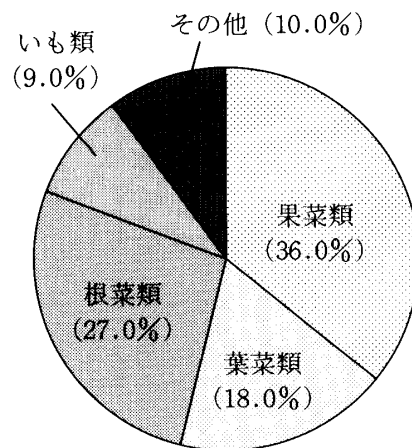
表10 野菜の種類別作付面積

主要品目別産地	主要品目	作付面積	出荷量の多い市町村
(H5)	だいこん	2,720 ha	新潟市・巻町・中条町
	えだまめ	1,510	新潟市・黒埼町・白根市
	ばれいしょ	1,290	新潟市・豊栄市・新発田市
	すいか	1,120	新潟市・巻町・大和町
	なす	924	新潟市・白根市・豊栄市
	さといも	854	五泉市・新潟市・新津市
	キャベツ	842	新潟市・三条市・横越村
	ねぎ	830	新潟市・中条町・五泉市
	きゅうり	659	白根市・新潟市・聖籠町
	トマト	515	豊栄市・新潟市・白根市
	にんじん	502	豊栄市・中条町・津南町
	れんこん	360	中之島町・五泉市・見附市
	アスパラガス	323	津南町・十日町市
	ブロッコリー	162	黒埼町・弥彦村・新潟市
	いちご	164	新潟市・紫雲寺町・新津市
	カリフラワー	152	小千谷市・新潟市・大和町

資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びるにいがたの農林水産業』

図3 野菜の種類別作付割合
(平成5年)

単位 (%)



資料：新潟県農林水産部・農地部『にいがたの農林水産業』より作図

(5) 野菜の生産額の推移、生産状況、県外出荷、出荷時期

野菜の作付面積と生産額の推移は図4に示したが、作付面積は減少しているが生産額は増加している。農業技術の進歩から単位面積当たり収量が増加したためと考えられる。

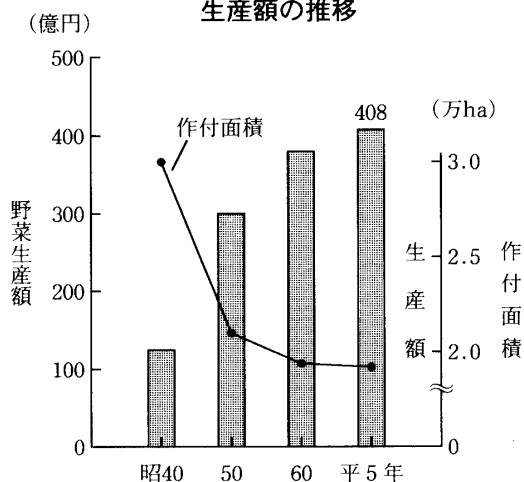
主な野菜の生産状況を平成5年の全国順位でみると図5のようで新潟の野菜はねぎ、えだまめ、すいかなどの県産ブランド品目を中心に産地化が進み、高速交通網を利用して全国各地へ出荷されているという。特にえだまめは全国第1位の生産量といわれる。

県産野菜の県外出荷先別割合は図6にみられるように京浜地方への出荷が60%を超えている。この出荷は生産量の多いしゅんの時期と一致していると考えられ、おもな野菜の出荷時期は図7の通りである。

これらのことから本県の野菜の生産量は年々多くなっていると考えられるが他県に比して作付面積は少なく、米を主体とするために大規模な指定産地も少なく野菜のしゅんを除いては県内での出荷量は少なく青果市場では他県からの青果物が多く出回る結果となり、店頭には県内産のものがあまりみられないということになるのではないかと考えられる。

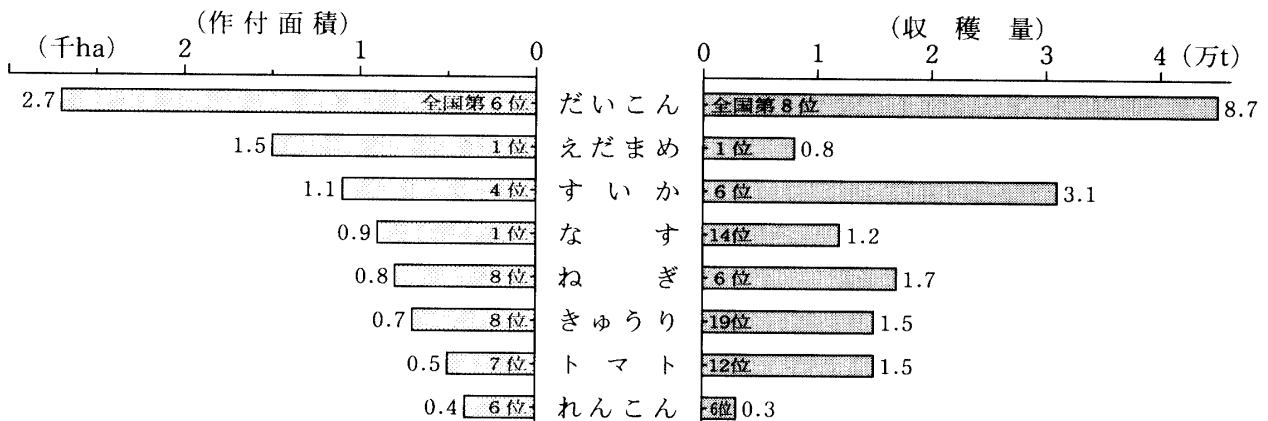
県では野菜の産地育成のほか野菜収穫機の開発や集出荷予・保冷施設など機械化や施設化が進められているとのことであるが、栄養、鮮度、熟度など品質の良い地場野菜が安価で出回ることを期待したい。

図4 野菜の作付面積と生産額の推移



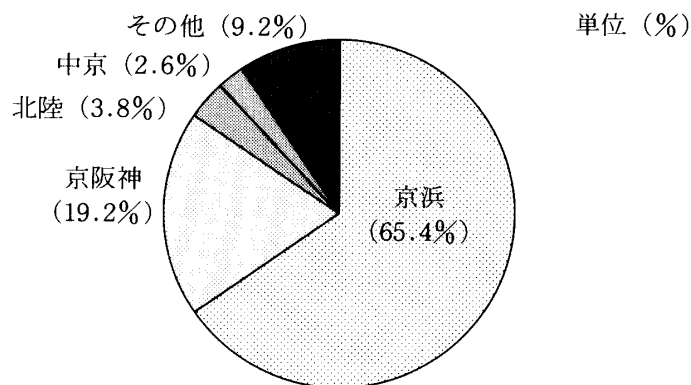
資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びるにいがたの農林水産業』

図5 主な野菜の生産状況（全国順位・平成5年）



資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びるにいがたの農林水産業』

図6 県産野菜の県外出荷先別割合（平成5年）



資料：新潟県農林水産部『明日へ伸びるにいがたの農林水産業』より作図

図7 野菜の出荷時期

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	出荷量の多い市町村
		冬だいこん	越冬			春だいこん		夏だいこん		秋だいこん				
おもな野菜の出荷時期	だいこん													新潟市・巻町・中条町
	にんじん													豊栄市・津南町・中条町
	さといも													五泉市・新潟市・新津市
	キャベツ						春キャベツ	夏・秋キャベツ				冬キャベツ		新潟市・三条市・横越村
	ねぎ							春まき		秋まき				新潟市・五泉市・中条町
	なす													新潟市・白根市・豊栄市
	トマト				ハウス			る地						豊栄市・新潟市・白根市
	えだまめ					早どり		中生		ばん生				新潟市・黒埼町・白根市
	ブロッコリー					春まき				秋まき				黒埼町・弥彦村・新潟市

資料：新潟県農林水産部・農地部『にいがたの農林水産業』

Ⅳ お わ り に

新潟県の穀類の生産量をみると多いのは米で全国2位である。中でも「コシヒカリ」、「ゆきの精」「新潟早生」の3種で収穫量の80%を占めている。そのため粗生産額では全国1位で、「新潟米」は美味で高級な米という評価を得ていると考えられる。

次に多いのは大麦で全国4位、大豆は全国13位の収穫量があるが、小麦の生産はとても少ない状況であった。

穀類は日本人の主食は活動のエネルギー源であるのだが、新潟県の米の生産量が多いといっても国内における生産量は国民全体からみると大変に少ないので、今後の生産と消費との均衡も考えながらさらに努力してゆく必要がありそうである。

県内の野菜の生産についてみると、個々の農家が野菜をつくる他に、野菜生産に定められている国の指定産地や県の認定産地、特約産地が昭和57年から定められており、国の指定産地に定められている品目は、ねぎ、にんじん、トマト、きゅうり、なす、ばれいしょ、キャベツ、だいこん、さといもの9種である、これらの産地制度で栽培されている野菜が農協などを通して、あるいは団体別に市場に出回っている。産地制度は耕作面積によってきめられてるが、耕作面積の規模は他県に比して小さく、国の指定産地は少なく野菜の栽培に関しては大規模農家が少ない。

そのためにある野菜のしゅんの時期には、県内に出回るのも多く、県外出荷も多いが、しゅんでない時期には県内産はあまり県内に出荷されず、県外のものがスーパーや八百屋さんの店頭など市場に出回ることが多いといえる。

産地育成など県の努力も大きいと考えられ今後の発展を期待したい。

資料蒐集に際しまして、県農林水産部農業総務課農業農村政策室主任小幡浩之様にいろいろとご協力を頂き、ご指導賜りましたことを感謝厚く御礼申し上げます。

尚、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの2野菜については歌城、Ⅲの1穀類については玉木、Ⅳについては歌城、玉木が執筆担当した。

参 考 文 献

- ・平成6年度新潟県農業の動き 新潟県農林水産部農業総務課 平成7年3月
- ・新潟県農業の現状 新潟県農林水産部 平成7年3月
- ・明日へ伸びるにいがたの農林水産業 新潟県農林水産部 平成7年3月
- ・にいがたの農林水産業 新潟県農林水産部・農地部 平成7年3月
- ・新潟県の園芸と養蚕 新潟県農林水産部園芸・流通課 平成7年3月
- ・新潟県園芸指定産地の概要 新潟県農林水産部 平成元年3月
- ・食料需給表 農林水産大臣官房調査課 平成5年3月